



発行責任者：歯学部長 宮崎 隆，編集責任者：広報委員長 佐藤裕二
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL 03-3784-8000
ホームページ：<http://www.showa-u.ac.jp>

新歯学部長挨拶 歯科理工学教授 宮崎 隆

本年4月から2年間、引き続き歯学部の運営を預かることになりました。平成15-16年度の総括は以下のとおりです。



1. 理事会関係：臨床系講座再編、定員の見直し、歯科病院診療科の新設等の機構改革の実施。旗の台歯科理工学実習室と歯科病院内の改修。
2. 入試関係：選抜方法の見直し。大阪会場での選抜試験実施。大学院社会人特別選抜の実施。
3. 教育委員会関係：新カリキュラムの開始。旗の台校舎で4年生まで教育。PBLの本格導入。D6チューター会議の発足。
4. 学生部関係：歯学部学生表彰制度の制定。
5. 研究関係：研究活動委員会の発足。研究者データベースの公開。若手研究者の表彰。文科省ハイテクリサーチセンター申請（採択）。
6. 広報関係：歯学部広報委員会の発足。歯学部だよりと歯科病院だよりの発刊。ホームページの充実。英文広報誌の作成。
7. 交流関係：4大学交流(北医療大、岩手医大、福歯大)スタート。国際学部間交流プログラムの調印(大連医科大学、天津医科大学、アデレード大学)。英国から学生選択実習の受け入れ。文科省国際化推進プログラム申請(採択)。

今年度の事業計画は以下のとおりです。

1. 学生の受け入れ：広報活動を充実し、大阪会場の受験生を増やします。大学院社会人特別選抜をPRし、大学院生の受け入れを拡大します。
2. 学部教育：新カリキュラムを完成します(5年臨床実習、6年選択実習、PBL)。新カリキュラムの点検と新カリキュラムの制定(H18年度の入学生から)を行います。
3. 研究：ハイテクリサーチセンターをスタートさせ、研究業績をあげます。学内外の共同研究を推進し、外部競争研究資金の獲得を目指します。
4. 臨床：新設診療科の見直しと一層の充実を図ります。教育も含めて、地域連携および医学部付属病院との関係を強化します。
5. その他：必修化が始まる卒業研修制度の充実を図ります。学生交流を含めた国際交流を推進します。歯学部・歯科病院の30周年記念事業の準備を始めます。

以上のことを、特に、地域社会との連携、昭和大学内での連携、国際化の推進に重点をおいて、昭和大学歯学部が一層競争力を高めるように、努力してまいります。今後ともご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

新病院長挨拶 歯科補綴学教授 川和忠治

平成16年より臨床系の講座と診療科の再編がスタートしました。

病院は医療を提供する場であると共に臨床教育、研修の場としての機能も担っております。そのためには患者さんのニーズにあった専門診療科と教育病院としての体制を充実させる必要があります。



そのために新設診療科3科と新設専門診療部門5科を開設しました。また、平成17年より臨床実習の形態をローテイト方式から中央方式に変えます。

さらには、地域医療機関とのなお一層の密接な連携を目指しております。最後になりますが、私どもの提案に対して忌憚のない意見を頂きたいと思っております。教職員一人ずつの協力なくして組織は機能しません。また、同時に諸般の事情もご理解の上協力をお願い致します。

国家試験結果 D6チューター会議 上條竜太郎

第98回歯科医師国家試験結果が4月19日発表されました。本年度の受験者総数は3343名で、合格者数は2493名、合格率は74.6%(私立大学69.9%、国公立大学85.6%)で、昨年度(91.4%)と同様、難関でした。本学部からは新卒者112名、既卒者18名が受験し、それぞれ99名、7名が合格、合格率は81.5%で全国平均を大きく上回りました。新卒者の合格率は88.4%で、全私立大学中第4位で、国公立大学の新卒者合格平均を上回りました。

本年度も歯学部6年生に対してはチューター制度を実施し、補習、学内模試をはじめ、チュートリアルを導入して昨年度よりさらにきめ細かな指導体制をとりました。ご協力いただいた皆様はこの場をお借りして深く感謝申し上げます。本年度の合格率は決して悪くはありませんが、急速に難易度を増した歯科医師国家試験の現状を考慮し、1人でも多くの卒業生が合格できる体制を築く必要があります。来年度は教員、学生一丸となって卒業生全員合格を目指したいと思います。皆様のご指導、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

歯周病学教室教授就任挨拶 山本松男

この度、4月1日付で歯学部歯周病学教室教授を拝命いたしました。本学の理念にてらして、社会に役立つ歯科医師の教育と歯科医学の発展に貢献できるよう、渾身の力を振りしぼってがんばりたいと思います。



歯周病はう蝕とともに歯を失う二大疾患の一つです。患者さんの口腔に対する関心も高まってきています。病態改善にとどまらず、咀嚼機能、審美の面からも満足していただけるように、各診療科との連携がますます多くなると予想されます。諸先生方のご指導、ご協力をいただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

歯周病は、「健康日本21」提言の中で、糖尿病、肥満や高血圧等と並び、生活習慣病に列挙されました。完全な歯垢除去は容易ではなく、生活習慣に基づいた性質の強い疾患であるという観点からです。さらに、糖尿病や心筋梗塞、脳梗塞、肥満などの全身疾患との相関が多数報告され、その影響は単に口腔に限局したものではないことが明らかになってきました。この点を念頭に診療と研究に取り組み、患者さんの健康増進に貢献しうる歯科医療・歯科医学の発展に寄与したいと考えております。そして、新しい局面を迎えつつある歯科医学に対応のできる歯科医の教育を行っていききたいと考えております。従来の取り組みに加えて、歯科以外にも広く医薬学の各分野との連携も視野に新しい協力体制を模索することが必要かもしれません。その際にも、まずは歯科基礎の先生方、臨床の先生方のご指導ご協力いただき、現在の歯科医療の発展を目指したいと考えています。

歯周病学講座は長谷川紘司教授が築かれ、スタッフも充実し、診療・教育・研究に大きな実績のある教室です。この財産を発展させ昭和大学をはじめ歯科医学に貢献できるよう、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

員外教授就任挨拶 倉地洋一

この度、顎口腔疾患制御外科学教室の員外教授を拝命致しました。教育面では、新カリキュラムの進行、講座統合に伴い講義、実習さらに臨床研修医の指導と業務が多岐にわたっており、南雲正男主任教授に協力して充実した学部教育を行い、良質な歯科医の育成に寄与したいと考えております。



また、臨床、研究面におきましても、医局員の協力を得て歯学部、教室発展のために精一杯尽くしたいと思います。

さらに、昨年9月よりインプラント科の科長に任命されており、インプラント科の診療体制を整え、城南地区においてインプラントセンターとしての機能するように努力する所存ですので、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

総合内科科長就任挨拶 井上 紳

この程、歯科病院に総合内科が新設されました。歯科診療中や入院中の患者さんを診察いたします。また午前是一般の患者さんも診察します。科長の井上は高血圧や心臓病、田中助手は喘息など呼吸器疾患を専門にしています。



不整脈疾患は24時間ホルター心電図、狭心症など虚血性心疾患は運動負荷心電図を行います。最近話題の睡眠時無呼吸症候群は田中助手が簡易アプノモニター等を用いて診断いたします。残存歯が少ないほど高血圧や糖尿病などの生活習慣病が多いことが知られています。また不正咬合は不整脈など自律神経に影響する可能性が指摘されています。当科では「食」のありかたについて歯科の先生方と歩調を合わせて検討するため、血液や外来蓄尿データ等の検査をします。塩分の取りすぎや太りすぎなど食生活に偏りが見られる患者さんの場合には将来的に栄養士の先生にも参加していただき、改善に向かって患者さんとともに努力していきたいと考えています。新設科ですので不行き届きの点多々あると思いますが、患者さんの依頼や紹介をよろしくお願い申し上げます。

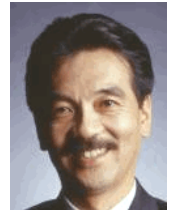
新副病院長挨拶 歯科矯正学教室 榎 宏太郎

正直に申せば、あまりの重責に大変戸惑いがあります。しかし、自身がこの病院の機構や抱える問題点を知るためのいい機会であると考え直しました。院長先生と事務長さんには文字どおり手取り足取り教えて頂く事となってしまいうため、本当にご迷惑をおかけすると思います。また、新しく担当する委員会の皆様にもその委員会の意義から再確認した上での議事進行となりますことをお許し下さい。そして、会議の効率的な進行を目指したいと考えております。よろしくご協力の程お願いいたします。



新副病院長挨拶 高齢者歯科学教室 佐藤裕二

4月より歯科病院副院長（教育担当）にご指名いただきました。これまで、会議等では外野から質問をし続けて参りましたが、「本気で当事者として歯科病院のことを考えなさい」という叱咤だと思います。



広島大学からこちらに赴任して3年で、ようやく歯科病院の概要を理解し始めたところですが、ますます勉強をして、世界一の歯科病院にできるようがんばりたいと思います。特に新しい臨床実習の8月開始に際しましては、皆様方のご指導・ご支援をいただければと存じます。どうかよろしくお願い申し上げます。

アデレード大学歯学部と交流プログラム調印

歯学部長 宮崎 隆

オーストラリアのアデレード大学と本学とは、PBLを通じて、既に本学から後藤前学部長、岡野教育委員長ほか多くの教員が先方を訪れ、タウンゼント教授やトレーシー・ウィニング先生が本学でセミナーを開催するなど交流を続けてきました。この3月には文部科学省国際化推進プログラムの助成を受け、顎口腔疾患制御外科学講座の



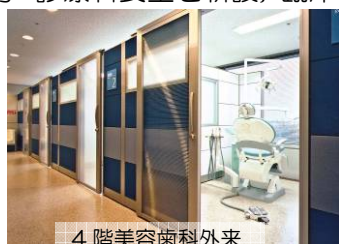
片岡講師が1ヶ月間同大学に滞在し研修をしました。私自身、昨年の6月に新カリキュラムの選択実習(6年生)の受け入れ交渉のためにアデレードを訪問し、大学と職業専門学校を視察し、オーストラリアの歯科医療システムと歯学教育を見学してきました。この度、再度アデレード大学を訪問し、3月30日に、学部長代理のリチャード教授と、両学部間の交流プログラムの正式な調印を行いました。あわせて、平成17年度から夏期休暇等を利用した低学年学生の見学を中心とした短期研修の派遣についても合意を得ました。早速4月4日に開催された新学期のオリエンテーションで学生に紹介しました。平成19年度に6年生が充実した選択実習ができるよう、さらに交流を深めていく所存です。アデレード大学のカリキュラム、PBL、臨床実習等の詳細は、片岡先生からレポートを頂戴する予定です。

歯科病院工事完了 歯科病院事務長 外川 譲

平成16年度事業計画による院内改修工事が無事終了しました。診療科の新設、平成18年度からの歯科医師臨床研修必修化、歯学部学生の新カリキュラムに対応させるため、平成16年7月より3月までの8ヶ月間、院内の改修工事を実施しました。

主な工事内容は4階保存科一部を改修し美容歯科診療室を新設、1階管理部門を移設し総合内科を新設し4月より診療を開始しております。また、5階矯正科の一部を改修し、お口の健康外来を1階診療室より移設し、2月7日より診療を開始しております。

また地下1階に総合医局・診療科長室を新設、臨床研修医の医局、歯学部学生・臨床研修医のためにスキルス・ラボ室等臨床実習室を改装すると共に管理部門は院長室、看護部長室、事務長室、管理課等を移設しました。



報道・表彰 広報委員長 佐藤裕二

- ・2005.4.11 南雲正男先生が口内炎について、OZ Magazineという雑誌に取り上げられました。
- ・2005.4.8 向井先生が朝日新聞[多摩発 夢づくりの現場・ヘルシーフード]に取り上げられました。

歯科病院退職者送別会 歯科病院事務長 外川 譲

3月23日(水)18時30分より歯科病院管理会議主催による定年退職者を送る会を開催致しました。対象者は看護部の齊田昭子様、事務部の越畑貞夫様、栄養科の佐藤澄子様



3名でした。病院長、学部長より、長年に亘りそれぞれの立場で歯科病院発展の為に尽力いただいた旨の挨拶がありました。つづいて、久光副院長より乾杯のご発声をいただき、会食をしながら楽しい思い出話や貴重なご助言をいただきました。話も尽きませんでした。最後に3名の方々の長年の勤務に対する労いの言葉があり、全員による記念写真を撮り閉会と致しました。

入学式および入寮式 歯学部長 宮崎隆

都内の桜が満開の4月8日(金)に、明治神宮会館において、平成17年度昭和大学入学式が挙行されました。明治神宮の森の中にあるこの会館は、1900名収容可能で、医歯薬保健医療学部の新入生約600名と父兄600名の参加者でしたが、ゆったりとした環境で、厳粛な式が執り行われました。細山田学長の告辞と小口理事長の祝辞に引き続き、各学部の新入生が紹介され、歯学部は101名(編入生5名を含む)を代表して、天野瑞英さんが宣誓をしました。新入生は昼過ぎに例年どおりバスで富士吉田キャンパスに向かいました。

翌日4月9日(土)に、富士吉田キャンパスで入寮式が挙行されました。この日も晴天で霊峰富士山は中腹まで雪をかぶって神々しく印象に残る日でした。入寮式に引き続き、細山田学長の特別講演がありました。本学の歴史と建学の精神を紹介後、歯学部の麻醉の講義を担当したこと、卒後の研修を引き受けて歯学部の卒業生が医学部の医局員と一緒に頑張ったことを例に出し、寮生活やクラブ活動が他大学ではできない本学ならではの医療人の養成の基本であると締めくくりました。

午後には各学部のオリエンテーションがあり、歯学部からは山田副教育委員長、立川学生部長と私が出席し、学部の特徴、6年間のカリキュラム、今後の心構え等についてお話ししました。今年度の新入生はマナーも含めて非常に好感がもて、今後が楽しみです。東京から大勢の学生がクラブ勧誘に駆けつけ、富士吉田キャンパスは春の陽気の中賑わっていました。



臨床研修修了式

総合診療歯科 長谷川篤司

3月29日(火)、
歯科病院にて臨床
研修修了式が執
り行われました。
川和病院長から1
年間の研修に対す



る労いと祝辞が贈られ、一人ずつに修了証が授与されました。次に、本年度臨床研修における最優秀研修医として友安洋子(歯科矯正)、増田理恵(歯科補綴)、優秀研修医として永良百合子(歯科矯正)、池田哲(高齢者歯科)の4先生が表彰されました。研修医達が自ら当日の服装を正装と定めたこともあり、式は厳かな雰囲気で行われました。式後、職員・学生食堂にてパーティーが催され、指導医を代表して積田助教(高齢者歯科)から研修修了の祝辞が贈られました。

新研修医ガイダンス

総合診療歯科 長谷川篤司

4月1日(金)、歯科病院第一臨床講堂にて新臨床研修医と新大学院生の合同オリエンテーションが行われました。「自ら学ぶ1年にしたい」(川和歯科病院長)



との祝辞・激励に続き、保険医登録(管理課)、医薬品の取り扱い(岡田薬局長)、PCのウィルス対策(古屋教授)、医事紛争(鈴木顧問弁護士)、感染予防対策(道脇助教)、保健医療担当規則(松村審査委員)、医療安全対策(北川助教)についての解説を受けました。

残念ながら、社会人第1日目から遅刻、私語、居眠り、服装の乱れ等が散見され、今後の大きな指導課題となりそうです。

大学院生ガイダンス

大学院運営副委員長 佐藤裕二

4月21日16:00から歯科病院第一臨床講堂で新大学院生に対して入学式に相当するガイダンスが行われました。新大学院生は男16名、女18名で、うち6名が今年度より開設された社会人大学院でした。宮崎歯学研究科長より「国際的視野に立ってほしい」との激励の言葉に続いて、立川大学院運営委員長より指導教授の紹介と履修要項の説明がありました。

その後の自己紹介では新大学院生の希望に満ちた抱負を聞くことができ、新しい船出を記念した写真撮影で幕を閉じました。本年度は多くの大学院生を迎え、研究のますますの充実が期待できます。



臨床実習について

教育担当副院長 佐藤裕二

8月からD5の新臨床実習が開始されます。これは歯内・修復・歯周・補綴の治療を4階の環七沿いの13台のチェアで学生参加型で行うというものです。具体的には、保存系6名、補綴系4名のライターが常駐し、学生は一連の治療にアシスタントを中心に参加し、患者さんとのコミュニケーションを取りながら、可能な診療ステップについては実施することを目指します。他の診療科にはローテーションで回り、そこで担当した患者さんは継続して付き添います。患者さんの予約などの大きな問題もありますが、実りのある実習にできるように、各科の代表の方で月に2回の会議を行い、準備をしています。限られたスペース・人員・設備をいかに有効利用するかについて、多くの方の英知を結集したいと思います。どうかよろしくご協力のほどお願いいたします。



入職式

歯科病院事務長 外川 謙

4月1日(金)午後1時より2号棟1階会議室で新入職員4名を迎え行われました。初めに病院長より挨拶があり、本日から歯科病院に勤務するに当たり医療従事者としての心構えについて話をされました。副病院長、看護部長、歯科衛生士長、事務部管理者の紹介のあと、病院長より辞令をそれぞれに交付しました。最後に事務部から病院の概要等の説明、事務連絡を行い終了しました。

なお、新入職員は次の通りです。

看護部病棟：佐藤由香、中村友紀

中央放射線室：今村ゆきえ、言語聴覚室：川西順子

診療統計

(平成17年3月分)

区分	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	18950	789.6	753.4	774.8
入院患者	466	15.0	13.8	17.8

行事予定

広報委員長 佐藤裕二

5月 9-10日：放射線診療従事者健康診断

5月18-20日：定期健康診断(D2-D6)

5月20日(金)：昭和歯学会演題締切

7月 2日(土)：昭和大学歯学会



編集後記

広報委員 弘中祥司(口腔衛生学教室)

桜の季節もあっという間に過ぎて、もうすぐGWです。皆様のご予定はお決まりでしょうか。旗の台キャンパスも新2年生たちが仲間入りして、にぎやかになりました。「2号館はどこですか?」と聞かれると春を感じさせられます。

新学期のお忙しい中、原稿を頂きました先生方に感謝いたします。